
AKB48

上金紗英子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

AKB48

【Nコード】

N1658U

【作者名】

上金紗英子

【あらすじ】

いつも通り仕事でマジすか学園の撮影をがんばる松井玲奈。撮影が終わり、仲良しのともちんこと板野友美ちゃんの家に行くことになった。

でもともちんの部屋は予想以上にすごかった…。1つ目の部屋はピントのヒョウ柄の壁紙が貼ってあるいかにも「ともちんの部屋！」って感じで、もう1つの部屋は…。

1話「ゲキカラ」(前書き)

AKBの小説をかいてみました！

まだまだダメダメの私ですが、どうぞ応援よろしくお願いします。

また、フィクションで実際とは全く関係ないのでともちんの印象悪くしたり絶対しないでくださいね！
ともちんとレナは私の推しメンですから！

1話「ゲキカラ」

一話 「ゲキカラ」

私は、SKE48の松井玲奈。

「マジすか学園」で頭が少しイカれてるゲキカラの役をやっている。今は撮影のあいまの休憩。

「松井さ〜ん！撮影の準備お願いします〜す。」

「は〜い。」

行かなきゃっ。

撮影が始まった。

「ねえ…怒ってる？…友達やられて…マジで怒ってるー！キャハハハハハ！」

撮影が終わった。

「玲奈〜！おつかれ〜！この後空いてる〜？」

AKBの中で一番仲良しのともちんこと板野友美ちゃんだ。

「うん。空いてる〜。どっか行く？」

実際は1人が好きだから自分からは誘わないけど、誘われたら行く気にはなる。

「うちの家くる〜？」

「いいの？」

「うん！じゃあ行こー！」

「うん。」

ともちんとは仲良しだけど、部屋は今日が初めて。

ともちんの家に着いた。

「どうぞ入って〜」

「おじやましま〜す！うわ〜っ！」

なんと、その部屋はともちんらしい、ピンクのヒョウ柄の壁紙の部屋だった。

「すごい部屋だね〜…」

「やっぱりビックリした？みんなビックリするんだよね〜。」

「これはビックリするでしょー。」

「でもね、こっちの部屋の方がビックリすると思うよー！」

「どこどこ〜？」

「ココ！」

ガチャッ

「え…っ」

なんとその部屋は、マジすか学園でセンターとチヨウコクがタイムンをはった場所のセットと全く同じところだったのだ。

しかも壁は血だらけ…。

「この血、どうしたの？」

「これ…？うちが殴ったの！キャハハハハ！アハハハハハハハハハハ！いきなりゲキカラの役をやりだした。

「ちよ…っどうしたのいきなり。しかもそれ、私の役だよ？」

「だつてえ、ゲキカラの役やりたかったのに、玲奈に取られちゃったんだもん！キャハハハハハハハ！」

「やりたかったの？」

「うん。でも、今から玲奈を潰せば、うちができるかもしれないじやん！キャハハハハハハ！」

「え…っ。それ…っどういうこと？」

「だーかーらあ、>strong<お前を今から潰すんだよッ！>
/strong^」

「え…っ？」

バーンッ！

「キャッ！？」

「ともちんに…殴られた？」

「口に手をあててみる。血が出ている。殴られたんだ…でも全然痛くない…。なんで？」

「バンッ！」

「私はふっ飛んだ。次は蹴られたみたいだ。」

「でも…痛くない。」

「ズルズルズル…」

「ベランダの方へ引きずられていく。」

「ちよつと…！やめてよ！」

「やだよ！お前を…潰すんだからあ！キャハハハハハ！アハハハハハハハ！」

「どんどんベランダが近づいてくる。」

「フワッ」

「体が…浮き上がった？」

「キャーッ！そこは、もうベランダの上で、ともちんに持ちあげられている。」

「ともちんが手をはなしたら、私は地面めがけてまっさかさま！」

「そのまま死んでしまう。」

「どうし…」

「10・9・8・7…」

「カウントダウンが始まった。」

「これが0になったら私を落とすつもりだろう。」

「どうしよう…」

「4・3・2…」

「ヤバイ！ヤバイヤバイヤバ〜い！！！！」

「1…」

「もう終わりだ…」

「お父さん、お母さん、育ててくれてありがとう。」

「AKBのみんな、秋元さん、私を受け入れてくれて本当にありがとうございました。」

「0！キャハハハハ！」

フワーツ

私は地面に落ちていった。

「いやーーーーーっ」

…リリリ！チリリリリ！

ん？あれ…？ここは…自分の…家？

あつ夢だったのか。はあ…よかったー！

今考えればそりゃそうだよなー。ともちゃんがあんなことするわけないもん！

しかも、殴られたり蹴られたりして、痛くないわけないもんねっ！

さあ、事務所行こう！

ガチャツ

私はドアを開けた。

「え…っ？」

そこには、私と同じ顔のゲキカラが何100人もいた…。

「キャハハハハハ！アハハハハハハハハハ！ねえ…殴ってもいい？」

「いやーーーーーっ！」

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1658u/>

AKB48

2011年10月4日01時26分発行